

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,816	35.4	724	—	670	—	—	—	—

（注）親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化についても見込んでいますが、現時点では精緻化が困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。詳細は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年5月期	29,432,353株	2018年5月期	20,400,000株
2019年5月期	—株	2018年5月期	—株
2019年5月期	23,394,286株	2018年5月期	20,400,000株

（注）当社は、2018年6月15日付で普通株式1株につき10,000株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

（参考）個別業績の概要

2019年5月期の個別業績（2018年6月1日～2019年5月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期	10,200	39.4	△848	—	△893	—	△947	—
2018年5月期	7,318	51.4	△3,006	—	△3,022	—	△3,294	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期	△40.48	—
2018年5月期	△178.68	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2019年5月期	9,082	3,376	3,376	3,376	37.1	114.71	114.71	
2018年5月期	5,293	1,312	1,312	1,312	24.8	△311.50	△311.50	

（参考）自己資本 2019年5月期 3,365百万円 2018年5月期 1,312百万円

- （注）1. 当社は2018年6月15日付で普通株式1株につき10,000株の割合で株式分割を行っています。前事業年度年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を算定しています。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	13
(1株あたり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、名刺管理をはじめとした、さまざまなソリューションサービスの提供により、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションを掲げ、事業活動を展開しています。

当連結会計年度においては、継続的な売上高の成長の実現に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化やテレビコマーシャルを中心とした広告宣伝活動等に取り組みました。

この結果、Sansan事業及びEight事業ともに順調に業績が拡大し、当連結会計年度における売上高は10,206,014千円(前年同期比39.3%増)、売上総利益は8,608,441千円(前年同期比46.2%増)、売上総利益率は84.3%(前年同期比3.9ポイント増)となりました。一方、営業損益以下の段階損益においては、現在は成長の実現に向けた先行的な投資を行っているフェーズであることからそれぞれ損失を計上しており、営業損失849,739千円(前年同期は営業損失3,061,454千円)、経常損失891,689千円(前年同期は経常損失3,077,015千円)、親会社株主に帰属する当期純損失945,539千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失3,085,890千円)となりました。しかしながら、Sansan事業及びEight事業の成長が継続したことや、主にEight事業における広告宣伝費が前年同期比で減少したこと等により、各段階損失は前年同期と比較して縮小しました。

また、事業展開の更なる強化や加速を目的に、2018年12月には3,000,000千円の資金調達(第三者割当増資)を行いました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(i) Sansan事業

法人向けクラウド名刺管理サービス「Sansan」における契約件数及び契約当たり売上高の更なる拡大に向け、営業人員の採用をはじめとした営業体制の強化やテレビコマーシャルを中心とした広告宣伝活動等に継続的に取り組みました。また、2019年3月には、プロダクトコンセプトを「名刺管理から、ビジネスがはじまる」に刷新し、各種機能の改善やデザインのリニューアルを行う等、製品力の向上に努めました。この結果、当連結会計年度末における「Sansan」の契約件数は5,823件(前年同期比13.1%増)、直近12か月平均の月次解約率は0.66%(前年同期比0.1ポイント減)となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は9,639,479千円(前年同期比36.8%増)、セグメント利益は2,909,507千円(前年同期比102.4%増)となりました。

(ii) Eight事業

個人向け名刺アプリ「Eight」におけるユーザー数の拡大に継続的に取り組むとともに、事業全体としての本格的なマネタイズを加速すべく、企業向けサービスの展開強化や新サービスの開発等に注力しました。2018年12月にはiOS版、2019年3月にはAndroid版のアプリにおけるアップデートを実施し、ユーザーの利便性向上等に努めた結果、当連結会計年度末におけるユーザー数は244万人(前年同期比30万人増)となりました。また、企業向けの新サービスとして、2018年9月に企業の課題解決を後押しするビジネスイベント「Meets」の提供を開始したほか、2019年1月には採用関連サービス「Eight Career Design」の提供を開始しました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は566,535千円(前年同期比102.8%増)となりました。セグメント損益については、現在は将来の収益化に向けた先行的な投資を行っているフェーズであることから、セグメント損失1,212,980千円(前年同期はセグメント損失2,964,347千円)を計上した一方、ユーザー数の拡大を目的に広告宣伝活動を強化した前年同期と比較して、損失額が大きく縮小しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は9,079,116千円となり、前連結会計年度末に比べ3,780,090千円増加しました。これは主に、2018年12月に実施した資金調達(第三者割当増資)等による現金及び預金の増加2,081,017千円に加え、取得による投資有価証券の増加1,093,800千円によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は5,706,151千円となり、前連結会計年度末に比べ1,719,648千円増加しました。これは主に顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等による前受金の増加1,125,149千円によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産額は3,372,965千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,060,441千円増加しました。これは、主に2018年12月に実施した資金調達(第三者割当増資)による資本金及び資本剰余金の増加

3,000,000千円、親会社株主に帰属する当期純損失の計上による利益剰余金の減少945,539千円によるものです。また、2018年8月21日開催の定時株主総会決議に基づき、累積損失の早期解消による今後の柔軟かつ機動的な資本政策を実現するために、資本金1,851,627千円及び資本剰余金1,443,034千円を減少し、利益剰余金に振り替えています。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、5,468,495千円となり、前連結会計年度末に比べ1,922,476千円増加(前年同期比54.2%増)しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,072,808千円(前年同期は1,609,791千円の使用)となりました。主な資金増加要因は、非現金支出となる減価償却費の計上459,657千円、前受金の増加1,125,161千円等であり、主な資金減少要因は、税金等調整前当期純損失の計上937,602千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,282,733千円(前年同期比236.1%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出316,310千円、無形固定資産の取得による支出574,297千円、投資有価証券の取得による支出1,093,800千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3,132,304千円(前年同期比18.1%減)となりました。これは主に、第三者割当による新株式の発行による収入2,989,470千円によるものです。

(4) 今後の見通し

2020年5月期においては、主にSansan事業の継続的な成長に加えて、Eight事業におけるマネタイズの進展が業績に寄与する見込みであることから、売上高は13,816,000千円(前年同期比35.4%増)を見込んでいます。また、段階損益においては、売上高の伸長に伴いそれぞれ黒字化を見込んでおり、営業利益724,000千円(前年同期は営業損失849,739千円)、経常利益670,000千円(前年同期は経常損失891,689千円)を見込みます。また、親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失945,539千円)についても見込んでおり、中期的に業績が向上していくことにより、将来年度の課税所得見積額の増加が見込まれています。これに伴い、2020年5月期においては、主に税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の増加により、法人税等調整額が計上される可能性があるものの、現時点では2021年5月期の業績見通し等に基づく、法人税等調整額の計上の精緻化が困難であることから、親会社株主に帰属する当期純利益の具体的な予想数値の開示は行っていません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、国内の企業間での比較可能性を考慮し、会計基準については日本基準を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当連結会計年度 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,546,018	5,627,035
売掛金	207,224	318,354
前払費用	255,550	322,660
未収消費税等	82,380	266
その他	79,867	32,996
貸倒引当金	△4,517	△2,704
流動資産合計	4,166,523	6,298,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	222,633	502,742
減価償却累計額	△119,759	△164,952
建物及び構築物(純額)	102,873	337,789
その他	125,560	158,434
減価償却累計額	△64,081	△89,299
その他(純額)	61,478	69,134
有形固定資産合計	164,352	406,924
無形固定資産		
ソフトウェア	601,830	834,737
その他	620	390
無形固定資産合計	602,451	835,127
投資その他の資産		
投資有価証券	—	1,093,800
敷金	358,313	439,537
その他	7,385	5,118
投資その他の資産合計	365,698	1,538,455
固定資産合計	1,132,502	2,780,508
資産合計	5,299,026	9,079,116

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当連結会計年度 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,883	96,169
短期借入金	13,500	18,000
1年内返済予定の長期借入金	94,534	133,134
未払金	654,533	770,424
未払法人税等	24,258	41,283
未払消費税等	—	184,745
前受金	2,798,027	3,923,177
賞与引当金	133,416	199,010
事業所閉鎖損失引当金	—	6,960
その他	41,563	55,868
流動負債合計	3,819,717	5,428,772
固定負債		
長期借入金	127,706	233,714
その他	39,079	43,664
固定負債合計	166,785	277,378
負債合計	3,986,502	5,706,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,164,128	2,812,501
資本剰余金	1,443,034	1,500,000
利益剰余金	△3,291,714	△942,592
株主資本合計	1,315,448	3,369,909
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,925	△7,607
その他の包括利益累計額合計	△2,925	△7,607
新株予約権	—	10,663
純資産合計	1,312,523	3,372,965
負債純資産合計	5,299,026	9,079,116

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
売上高	7,324,098	10,206,014
売上原価	1,435,520	1,597,573
売上総利益	5,888,577	8,608,441
販売費及び一般管理費	8,950,032	9,458,181
営業損失(△)	△3,061,454	△849,739
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	2,079
為替差益	495	1,492
助成金収入	3,271	475
解約違約金収入	4,514	10,343
その他	2,279	1,679
営業外収益合計	10,597	16,069
営業外費用		
支払利息	5,719	4,766
リース解約損	5,115	8,836
株式交付費	14,836	10,530
株式上場費用	-	8,886
賃貸借契約解約損	-	16,130
事業所閉鎖損失引当金繰入額	-	6,960
その他	486	1,910
営業外費用合計	26,158	58,019
経常損失(△)	△3,077,015	△891,689
特別利益		
新株予約権戻入益	-	4,725
特別利益合計	-	4,725
特別損失		
固定資産除却損	1,528	16,387
減損損失	-	34,250
特別損失合計	1,528	50,637
税金等調整前当期純損失(△)	△3,078,543	△937,602
法人税、住民税及び事業税	7,346	7,937
当期純損失(△)	△3,085,890	△945,539
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△3,085,890	△945,539

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
当期純損失(△)	△3,085,890	△945,539
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,989	△4,682
その他の包括利益合計	3,989	△4,682
包括利益	△3,081,901	△950,221
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△3,081,901	△950,221

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	1,053,230	—	△873,688	179,541
当期変動額				
新株の発行	2,110,898	2,110,898	—	4,221,797
欠損填補	—	△667,864	667,864	—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△3,085,890	△3,085,890
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	2,110,898	1,443,034	△2,418,026	1,135,906
当期末残高	3,164,128	1,443,034	△3,291,714	1,315,448

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△6,914	△6,914	172,627
当期変動額			
新株の発行	—	—	4,221,797
欠損填補	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△3,085,890
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,989	3,989	3,989
当期変動額合計	3,989	3,989	1,139,896
当期末残高	△2,925	△2,925	1,312,523

当連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	3,164,128	1,443,034	△3,291,714	1,315,448
当期変動額				
新株の発行	1,500,000	1,500,000	-	3,000,000
欠損填補	△1,851,627	△1,443,034	3,294,661	-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	-	-	△945,539	△945,539
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-
当期変動額合計	△351,627	56,965	2,349,122	2,054,460
当期末残高	2,812,501	1,500,000	△942,592	3,369,909

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△2,925	△2,925	-	1,312,523
当期変動額				
新株の発行	-	-	-	3,000,000
欠損填補	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	-	-	-	△945,539
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△4,682	△4,682	10,663	5,981
当期変動額合計	△4,682	△4,682	10,663	2,060,441
当期末残高	△7,607	△7,607	10,663	3,372,965

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△3,078,543	△937,602
減価償却費	366,437	459,657
減損損失	-	34,250
事業所閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	6,960
株式交付費	14,836	10,530
固定資産除却損	1,528	16,387
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△540	△1,812
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,820	65,605
受取利息及び受取配当金	△37	△2,079
支払利息	5,719	4,766
新株予約権戻入益	-	△4,725
売上債権の増減額(△は増加)	△41,779	△111,289
前払費用の増減額(△は増加)	204,868	△67,067
未収消費税等の増減額(△は増加)	△79,009	83,137
その他の資産の増減額(△は増加)	△41,039	49,929
仕入債務の増減額(△は減少)	26,086	36,285
未払金の増減額(△は減少)	333,545	50,277
未払消費税等の増減額(△は減少)	△104,907	184,745
前受金の増減額(△は減少)	697,744	1,125,161
その他の負債の増減額(△は減少)	16,679	24,351
その他	46,608	56,123
小計	△1,597,980	1,083,592
利息及び配当金の受取額	37	1,297
利息の支払額	△5,719	△4,822
法人税等の支払額	△6,127	△7,258
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,609,791	1,072,808
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	-	△163,176
有形固定資産の取得による支出	△72,188	△316,310
無形固定資産の取得による支出	△408,415	△574,297
投資有価証券の取得による支出	-	△1,093,800
敷金の差入による支出	△199,182	△226,962
その他	600	91,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△679,187	△2,282,733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△283,284	4,500
長期借入れによる収入	50,000	290,000
長期借入金の返済による支出	△131,756	△145,392
株式の発行による収入	4,206,961	2,989,470
新株予約権の発行による収入	-	15,388
その他	△15,434	△21,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,826,486	3,132,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,099	96
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,541,607	1,922,476
現金及び現金同等物の期首残高	2,004,410	3,546,018
現金及び現金同等物の期末残高	3,546,018	5,468,495

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象になっているものです。

当社グループは、サービス別に事業部または会社を置き、各事業部又は会社が提供するサービスについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業部または会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「Sansan事業」、「Eight事業」の2つを報告セグメントとしています。

各セグメントに属するサービスの内容は以下のとおりです。

報告セグメント	属するサービスの内容
Sansan事業	法人向け名刺管理サービス「Sansan」の提供
Eight事業	個人向けビジネスネットワークサービス「Eight」の提供

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる事項」における記載と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,044,797	279,301	7,324,098	—	7,324,098
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	7,044,797	279,301	7,324,098	—	7,324,098
セグメント利益又は損失(△)	1,437,577	△2,964,347	△1,526,770	△1,534,683	△3,061,454
その他の項目					
減価償却費	224,891	83,692	308,583	57,854	366,437

(注) 1. セグメント利益または損失(△)及び減価償却費の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

3. セグメント資産及び負債については、資産及び負債に関する情報が最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、また業績評価の対象となっていないため記載していません。

当連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,639,479	566,535	10,206,014	—	10,206,014
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	9,639,479	566,535	10,206,014	—	10,206,014
セグメント利益又は損失(△)	2,909,507	△1,212,980	1,696,526	△2,546,266	△849,739
その他の項目					
減価償却費	282,509	43,413	325,923	133,734	459,657

(注) 1. セグメント利益または損失(△)及び減価償却費の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

3. セグメント資産及び負債については、資産及び負債に関する情報が最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、また業績評価の対象となっていないため記載していません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
1株当たり純資産額	△311.50円	114.60円
1株当たり当期純損失金額(△)	△168.44円	△40.42円

- (注) 1. 1株当たり純資産額については、優先株主に対する残余財産の分配額を控除して算定しています。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高がありますが、1株当たり当期純損失金額であることから記載していません。
3. 2018年5月29日開催の取締役会決議により、2018年6月15日付で株式1株につき10,000株の株式分割を行っていますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純損失金額を算定しています。
4. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△3,085,890	△945,539
普通株主に帰属しない金額(千円)	350,386	-
(うち優先配当額(千円))	(350,386)	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△3,436,277	△945,539
普通株式の期中平均株式数(株)	20,400,000	23,394,286
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1回新株予約権 新株予約権の数 8個 (普通株式 80,000株)	第1回新株予約権 新株予約権の数 8個 (普通株式 80,000株) 第2回新株予約権 新株予約権の数 45,000個 (普通株式 45,000株) 第3回新株予約権 新株予約権の数 328,950個 (普通株式 328,950株) 第4回新株予約権 新株予約権の数 534,611個 (普通株式 534,611株)

(重要な後発事象)

新株式の発行

当社は、2019年5月16日及び2019年5月30日開催の取締役会において決議した公募による新株式の発行については、2019年6月18日に払込を受けており、発行済株式数、資本金及び資本準備金の額が増加しています。

募集株式の種類及び数	普通株式 500,000株
発行価格	1株につき4,500円
引受価額	1株につき4,207.5円
発行価格の総額	2,250,000千円
引受価額の総額	2,103,750千円
増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額 1,051,875千円 増加した資本準備金の額 1,051,875千円
払込期日	2019年6月18日
資金の使途	運転資金としての広告宣伝費・販売促進費等のマーケティング投資、人件費、採用費に充当する予定です。